

認知症月間 ふちゅうオレンジデー開催

時 9月26日(土) 9時～12時

所 ジーベックホール4階中ホール

対 府中市民 定 150人 料 無料

申 ▶ 二次元コード

▶ チラシの参加申込書を福祉課、
ふらっと上下へ提出

ア 9月16日(水)

申し込みは
こちら▶



◎パネル展

時 9月1日(火)～25日(金)

所 ▶ 府中市立図書館 ▶ ふらっと上下

▶ i-coreFUCHUギャラリースペース
(18日(金)まで)

内 ▶ メッセージツリー

▶ オレンジカフェ・チームオレンジの活動紹介

◎みんなで歩こう 認知症ウォーキング

ジーベックホールから府中天満屋まで約1.1kmを歩きます。
オレンジ色のタオル、うちわを配布します。

時 9時～9時30分

※小雨決行。雨天の場合は中止、映画上映のみ。

◎映画『オレンジ・ランプ』上映会

時 10時～12時 ※映画のみの参加も可能です。

9月21日(月) 世界アルツハイマーデー

「認知症にやさしい町ふちゅう」

認知症になっても安心して暮らせる
府中市を目指して

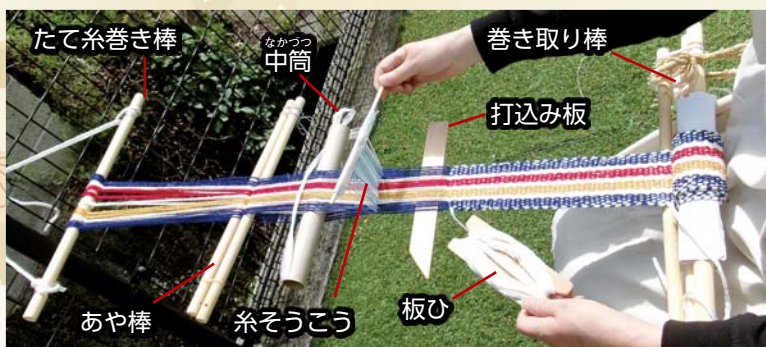
問 福祉課 (☎0847-40-0223)

ふちゅう 歴史散歩 Vol.184

わたしの体が織り機!!

～ げん し ばた 原始機に挑戦 ～

問 教育政策課 (☎0847-44-9024)



「原始機」は、木の棒とひもだけで作れる最もシンプルな織り機で、弥生時代に中国大陆や朝鮮半島からその技術が伝わりました。今回はこの「原始機」を再現して腰帯作りに挑戦しました。

作業を始めて最も驚いたのは、自分の体そのものが「織り機の一部」になるところです。たて糸の張り具合やよこ糸を打ち込む強さなどを、自分の手と体で調整するため、機械では出せない風合いや個性が生まれます。腰を使ってたて糸を張る

ため、織りあがる布幅は人の腰幅(約30cm)に限られますが、しっかりと目の詰まった丈夫な布ができます。また、織りの工程が「たて糸を上下に分け、その間によこ糸を通して打ち込む」という地道な作業の繰り返しであることが体感できました。

現代の機械式織り機であっても、「たて糸を開いてよこ糸を通す」という基本的な仕組みは弥生時代の布作りと同じです。弥生時代に伝わった技術は改良を重ねながら、今日まで受け継がれています。